

10月31日

テーマ：「わたしと共にパラダイスにいる」

聖書箇所：ルカの福音書23章32節～43節

◆今日のみことば

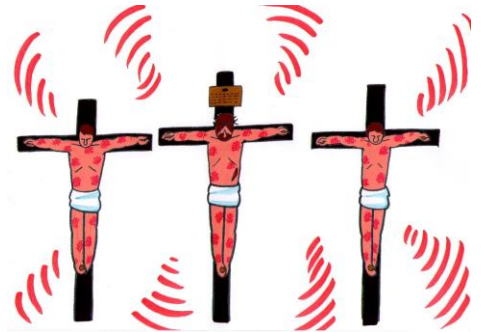
イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」  
ルカの福音書23章43節

◆メッセージ

今日の箇所には「パラダイス」という言葉が出てきますが、これは「天国」または「楽園」という意味です。皆さんはどんな時に、「天国（楽園）にいるようだ」と感じますか。大好きなお菓子を好きなだけ食べられる時、ゲームを好きなだけすることが出来る時、いろいろ考えられるかもしれせん。でも、苦しい時や悲しい時にパラダイスにいると思えるのでしょうか。

イエスさまはユダヤ人たちに捕らえられ、間違った裁判によって十字架につけられることになりました。イエスさまはゴルゴタの丘という場所まで十字架を運ばされ、そこで十字架につけられました。その時、イエスさまの右と左にはそれぞれ罪を犯した人が十字架につけられていました。ゴルゴタの丘には三本の十字架が立てられたのです。

片方の人はイエスさまに言いました。「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」しかし、もう一人の人は「おまえは神をも恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」そして「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」とお願いました。するとイエスさまは「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」と言われたのです。



この人は十字架の上で自分のしたことを後悔していました。そしてイエスさまを救い主と信じ、自分の罪を悔い改めたのです。イエスさまのあわれみを求めました。イエスさまはこの人の悔い改めを受け止め、赦しを宣言されたのです。「たとえ処刑

されて死んでも、イエスさまの十字架のゆるしにより、イエスさまと一緒に天国にいるよ。」それが、今日、十字架にかかっている何もしない今日、です。よいことをしたら、ではありません。罪を認め、イエスさまのあわれみのゆるしを願った今日、です。

私たちが、自分の罪を告白し、イエスさまが私たちを愛し、共にいてくださることを信じるならば、喜び、平安をいただき、そこがパラダイスとなるのです。

◆お祈り

「どんな時でも、どんな場所でもイエスさまが共におられることを信じ、心の中が喜びや平安で満ちていますようにしてください。」(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)